

学校経営方針に基づき、学校教育目標を具現化するための五つの柱（推進指針）

（1）真の学力（学ぶ意欲、楽しさの追求）

①基礎学力の確実な定着 Grit

- ・学習習慣、規律の確立（家庭学習の充実、小学校との連携）
- ・多様な学習の場の設定（少人数指導、T. T、補充等）

②生徒一人ひとりに応じた真の学力を育む学習指導の工夫・改善 Grit

- ・自分の考え、思いが活かされる授業
- ・学ぶ意義や必然性が感じられる授業
- ・言葉、音、体、絵、図などを使い自ら表現できる場が設定された授業

③将来の生き方や職業、社会の動きと関連づけ、自ら進路を切り開く基盤をつくる授業 Growth

④「よい授業」を活用した授業改善（子どもの声を謙虚に受け止める）

⑤グローバル・スタディの充実と国際教育の推進 Global

（2）豊かな心（ひとみ輝く生徒）

①各教科、行事等で自他を尊重する心づくりに努める Grit

- ・命の支えあいを学ぶ授業、赤ちゃん幼児ふれあい体験学習の充実
- ・自尊感情、自己肯定感の向上（ひとみ輝く場の提供）
- ・自ら進んで身を守り、地域に貢献できる生徒の育成

②あらゆる教育活動を通じて道徳教育の推進 Grit・Growth

- ・「考え、議論する」道徳授業の充実
- ・各教科、行事における道徳的価値を位置づけ実践を促す

③生徒が主体の部活動、生徒会活動のより一層の充実 Grit

- ・生徒ひとり一人の自己実現が図れる活動の充実

④安全、安心、環境美化を大切にされた学級・学年・学校

- ・安全、防災教育の充実　・掲示教育活動の活性化

⑤ボランティア活動の積極的な推進と地域貢献（東京オリ・パラ大会への参画） Global

（3）公明正大（生徒理解と生徒指導の充実）

①正義を愛し、いじめや差別、暴力を許さない指導の徹底（ダメなものはダメ） Grit

- ・いじめ防止基本方針に基づく防止と迅速で丁寧な対応

②さわやかな挨拶を交わすことができる集団づくり。（学級・学年経営の充実） Grit

③生徒の心の内面をとらえる教育相談活動、特別支援教育の充実と連携体制づくり Growth

- ・心と生活のアンケートの積極的活用
- ・ユニバーサルデザイン、交流教育を柱に、生徒一人ひとりの個性の伸長を図る
- ・教育相談的手法、特別支援教育的手法を組み合わせた個別支援の充実を図る

（4）健やかな体（心身を鍛える生徒）

①基本的な生活習慣や規則正しい生活の確立（全学級での生活記録ノートの徹底） Growth

②命の大切や尊さを理解し、自他へ命を守る行動ができる生徒の育成 Growth

③自己の健康管理と安全な生活ができる生徒の育成 Growth

④進んで運動に取り組み、体力向上に努める生徒の育成 Growth

⑤食の安全（アレルギー対応）と食育の推進

（5）伝統高揚（保護者・地域との連携と信頼づくり）

- ①本校のよりよき伝統を継承し、地域と連携した特色ある教育活動の創造 Global
(小中一貫教育の推進、70周年事業)
- ②教育活動の広報(学校だより、Webページ)、授業公開などを積極的に実施
- ③保護者・地域の声を学校経営に反映させる仕組みを検討する
- ④地域社会との交流を積極的に推進し、地域との連携を活かした教育活動の推進 Global
(チャレンジスクール、地域行事への生徒の参加)

目指す具体的な生徒像

知「よく考える生徒」Grit

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付ける生徒
- ・主体的に考え、議論し、表現することを厭わない生徒
- ・学んだことを生かし、様々な場面で活用できる生徒
- ・粘り強く課題解決に取り組む生徒

徳「和を大切にする生徒」「心身を鍛える生徒」Grit・Growth

- ・元気にあいさつし、他人の話をしっかり聞くことができる生徒
- ・正義を愛し、いじめや差別を許さない生徒
- ・自らの行動に責任をもち、思いやりのある生徒
- ・きれいな学校、美しい環境を創り出す生徒

体「心身を鍛える生徒」Growth

- ・健康、安全に留意し、自らの身を守り、地域に貢献できる生徒
- ・進んで運動し、体を鍛える生徒
- ・「命」の大切さを考え、実践できる生徒

コミュニケーション「和を大切にする生徒」Global

- ・豊かなコミュニケーション能力と表現力を身に付けた生徒
- ・和を大切にし、仲間と共に協力し、楽しく諸活動ができる生徒

学校教育目標の具現化に取り組む教師の姿(求める教師像)

◎協働共働と機動力のある組織体制 ◎教師として「誠実」に徹する

思考の原点=「学校の主役は、『生徒』である」「今、生徒にとって何が必要か」
「だれのために、何のために行うのか」

(1) 磨き合い学び続ける教師

- ①授業をとおして、学び合い、高め合い、切磋琢磨する教職員
- ②お互いを認め、信頼し、助け合い、組織として行動する教職員(チーム本太中)
- ③自ら課題を持ち、学び続ける教職員

(2) 生徒の心の声を感じられる教師(心のひだに迫り、心に沁みる指導)

- ①生徒の思い、願い、考え、気持ちを読み、寄り添える教師
- ②生徒の目線に立ち、生徒と共に活動する教師(見守り、見届け)

(3) 活力・機動力ある教師

- ①一人ひとりの教職員の適性に応じた校務分掌配置と迅速に組織で動く教職員